

市民のみならず、みなさんからの質問にお答えします

海岸に多くのポリタンクが漂着していることがありますが、その場合、どこへ連絡すれば回収していただけますか？



海岸に打ち上げられたポリタンクを回収

この季節になると、ポリタンクなどの容器類が海岸に漂着することがあります。

容器の中には、有害な液体や物質が入っている場合もありますので、不用意にふたを開けたり、持ち帰ったりしないでください。

また、最近では、注射器や点滴ビン、薬など医療系の廃棄物が漂着していることがあります。これらの廃棄物を発見した場合は、決して手を触れず直ちに鳥取市危機管理課までご連絡ください。

なお、このような漂着物は、市役所が回収します。

問い合わせ先 市役所本庁舎危機

管理課 ☎(0857)20-3127

／市役所閉庁時 ☎(0857)22-

8111

水道通信

鳥取市水道局 ☎(0857)53-7811

No.7

水道局の業務内容の紹介とコスト削減の取り組みについて、お知らせします。

■道路の漏水修理（工務課）

道路に埋設されている水道管からの漏水は、道路の陥没や濁水発生の原因になります。

水道局は、日ごろの点検などによって道路の漏水の把握に努め、漏水を発見した場合には、できる限り早急に修理が行えるよう万全を期しています。しかし、やむを得ず長時間断水する場合は、給水車やポリ容器などを使用して給水を行うなど、市民のみなさんへの影響が最小限となるように努めています。

また、このほかにも、みなさんからの連絡を24時間受け付けることにより、さまざまなトラブルにも対処できるようにしています。

そして、これらのサービス水準を維持しながら、さらに効率的な業務の運用を図るため、漏水に関して言えば修理業務を民間に委託し、費用の縮減を行っています。



市立病院 船本 慎作
健康センター副センター長

人間ドック・健診を受けましょう

Vol.31

『人間ドック』という言葉は第2次世界大戦直前の1938年、著名な政治家2人が健康チェック目的で東京大学附属病院に入院した際、重病人説を流されぬよう、「今回の入院は艦船が帰港してドックに入り船底の貝殻を除去しエンジンなど機器の点検整備をするのと同じである」とマスコミに発表されたのがきっかけとされています。

近年、「健康に自分の生命を全うしたい」「健康寿命を長く保ちたい」と考える人たちが増えてきています。その原因に、テレビを中心としたマスメディアによる健康情報の氾濫があります。著名な医学史研究家の立川昭二先生によると、元来日本人は健康願望が強く、執拗に健康を追い求める傾向があり、健康に対して「うるさい」民族であることが拍車をかけているようだと述

べられています。

健康寿命を延ばす方法として3つの方法があるといわれています。

- ①健康寿命を損なう病気や事故を予防する
- ②老化のスピードを遅らせる
- ③運動訓練や学習を通じて心身の機能を維持・改善する

人間ドック・健診を受けることで氾濫する健康情報を整理し、過剰ともいえる健康願望からくる「健康不安」から解放され、みなさん一人ひとりの健康寿命が永く保てるように、まずは、40歳を過ぎたら、ご自身の健康チェックをしてみたいかがでしよう。

■問い合わせ先
市立病院総務課 ☎(0857)37-1522